

みんなの議会



第2回議場コンサート

3月6日、第1回定例会において、田尻淳子さんのフルートと荻原靖也さんのトロンボーンによるコンサートを開催しました

第1回定例会 で決めたこと 2~4ページ

第1回臨時会・第2回臨時会・委員会活動・議会のうごき 5ページ

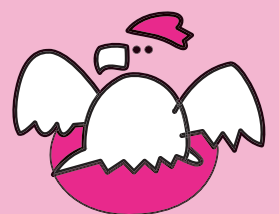
いっばんしつもん 6~11ページ

町政・教育行政執行方針報告に対する質疑 12~14ページ

予算審査特別委員会 15~17ページ

わたしの一言・あとがき 18ページ

人 自然 あったかす



鷹栖保育園の改築に着手

平成20年度予算総額 76億225万7千円可決

3月定例会で決めたこと

第1回定例会は、3月6日から8日間の会期をもって開催し、平成20年度の町政執行方針及び教育行政執行方針報告を受けたあと、4名の議員が一般質問を行い、町長、教育長の考えをいただきました。

議案審議では、平成19年度5会計の補正予算、条例の制定3件、改正9件、廃止1件及び、平成20年度8会計の予算、鷹栖町特別功労者選任同意等について審議を行い、原案のとおり議決しました。

また、意見書2件について採択し、会期を1日残し閉会しました。

条例

・第7次鷹栖町総合振興計画策定委員会条例の制定

平成22年度からの第7次鷹栖町総合振興計画の策定にあたって、地方自治法の規定に基づき、策定委員会を設置する条例を制定しました。

・鷹栖町公共施設修繕等基金条例の制定

将来予想される公共

施設の大型修繕に係る財政負担に備える為の基金を設置する条例を制定しました。

・鷹栖町後期高齢者医療に関する条例の制定

平成20年4月から施行される後期高齢者医療制度に關し、保険料徴収や各種届出等についてを定める条例を制定しました。

・鷹栖町住居表示審議会条例の一部改正

住居表示審議会の担

当課を町民課から税務課に変更する改正をしました。

・鷹栖町職員の修学部分休業に関する条例の一部改正

学校教育法の改正に伴い、引用条項番号を変更する改正をしました。

・鷹栖町税条例の一部改正

身体障害者と生計を共にする者が所有する軽自動車の税金を減免する場合、当該身体障害者の年齢制限を撤廃する改正をしました。

・鷹栖町手数料徴収条例の一部改正

住民基本台帳カードの交付手数料を平成20年4月から3年間無料にする改正をしました。

・鷹栖町重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正

・鷹栖町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正

の管理を行う指定管理

・鷹栖町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正

・鷹栖町精神障害者医療費の助成に関する条例の一部改正

いずれも、老人保健法が高齢者の医療の確保に関する法律に改正されることに伴う文言の整理です。

・鷹栖町介護保険条例の一部改正

税制改正に伴う介護保険料の激変緩和措置を継続する改正をしました。

・鷹栖町健康づくり推進協議会条例を廃止する条例

当該条例の根拠法となる老人保健法が廃止されたことに伴い、条例を廃止しました。

指定管理者

・公の施設に係る指定管理者の指定

各地区住民センター

者の指定をしました。

指定する期間は、いずれも平成20年4月1日から平成25年3月31日までです。

鷹栖地区住民センター
鷹栖町北1条3丁目
鷹栖地区住民センター
管理団体
代表 長田 潔

北野地区住民センター
鷹栖町南1条3丁目
鷹栖町高齢者事業団
理事長 新田 芳夫

中央地区住民センター
鷹栖町17線12号
特定非営利活動法人
柏の里
理事長 古屋 富夫

北斗地区住民センター
鷹栖町14線16号
北斗地区住民センター
管理グループ
代表 上西 勉

北成地区住民センター
鷹栖町22線15号
北成地区施設
管理グループ
代表 野呂田憲蔵

補正予算

■一般会計

歳入歳出予算をそれぞれ2億3,000万円減額し、予算総額を49億4,337万7千円としました。

減額補正の主な内容は事業完了見込みによるものです。

- ・議会費△ 51万円
- ・総務費△1242万円
- ・民生費△2655万円
- ・衛生費△1億7241万円
- ・農林費△ 22万円
- ・土木費△1346万円
- ・消防費 74万円
- ・教育費△400万円
- ・災害復旧費△50万円
- ・公債費△ 67万円

■国民健康保険特別会計

歳入歳出予算にそれぞれ105万円を追加し、予算総額を8億9,429万1千円としました。

補正の内容は、国民健康保険入力ソフトの購入です。

■介護保険特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ910万円減額し、予算総額を5億6,521万8千円としました。

減額補正の主な内容は事業完了見込みによるものです。

■公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算にそれぞれ1億5,905万9千円を追加し、予算総額を4億4,003万8千円としました。

補正の主な内容は、既存の起債を低金利の起債に借換えすることによるものです。

■上川支庁管内町村公平委員会特別会計

歳入歳出予算をそれぞれ29万円減額し、予算総額を1,184万9千円としました。

減額補正の主な内容は事業完了見込みによるものです。

■水道事業会計

収益的支出では99

0万円を減額し、総額を2億1,081万4千円としました。

資本的支出では2億4,666万円を追加し、総額を4億1,239万4千円としました。

補正の主な内容は、

既存の起債を低金利の起債に借換えするもの及び、事業完了見込みによるものです。

その他

■上川支庁管内町村公平委員会委員の選任同意

上川支庁管内町村公平委員会委員の選任について、同意しました。

大田 悟さん

美瑛町西町3丁目

■鷹栖町特別功労者の選考同意

鷹栖町特別功労者の選考について、同意しました。

築取 文雄さん

鷹栖町16線15号

意見書

■「道路の中期計画」の推進に関する意見書

国は平成20年度以降の道路整備の姿を示した「道路の中期計画」が着実に推進されるよう安定的かつ確実な財源の確保をすること及び道路整備財源の地方への配分割合を高めること等を要望する意見書を可決し、関係行政

庁に提出しました。

■地方医療の確保に関する意見書

地域医療は、住民にとつてなくてはならない地域社会の基盤であり、国の施策として、医師不足の解消、看護師等を養成・確保する為の財政措置の充実を図るなどを要望する意見書を可決し、関係行政庁に提出しました。

新年度予算

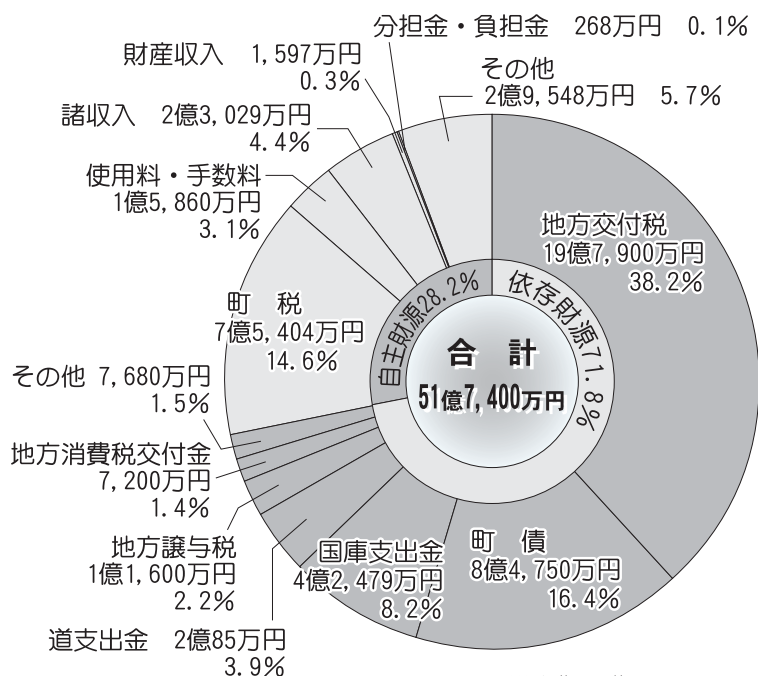
平成20年度予算について、議員全員による予算審査特別委員会の審議を経て、総額76億225万7千円を原案のとおり可決しました。

一般会計における主な新規事業

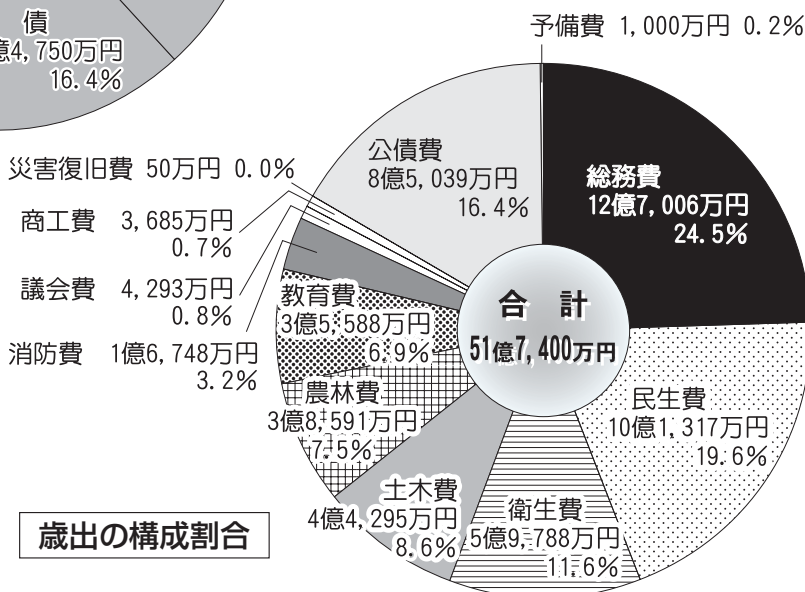
- ◎総務費（公共施設修繕等基金の設置）
- ◎民生費（鷹栖保育園改築事業・高齢者福祉施設設備事業）
- ◎衛生費（生ごみ堆肥化施設の稼働）
- ◎農林費（イエスクリーン認証米生産奨励事業・新規特産品定着化研究事業・原料トマト生産振興対策事業）

- ◎商工費（企業立地推進事業）
- ◎教育費（豊かな心生きる心を育む教育推進事業）

平成20年度 一般会計予算の概要



自主財源＝町が自主的に収入とすることができるお金
 依存財源＝国・道から交付、補助されるお金や借金（町債）



平成20年度鷹栖町歳入歳出総括表

(単位 千円・%)

| 会計名 | 予算額(千円) | 平成19年度予算額 | 増減 | 対前年度伸長率(%) | |
|------|------------------|-----------|-----------|------------|--------|
| 一般会計 | 5,174,000 | 5,104,000 | 70,000 | 1.4 | |
| 特別会計 | 国民健康保険(事業勘定)特別会計 | 846,847 | 819,502 | 27,345 | 3.3 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 65,405 | — | 65,405 | 皆増 |
| | 老人保健特別会計 | 87,307 | 923,407 | △ 836,100 | △ 90.5 |
| | 介護保険特別会計 | 553,125 | 554,251 | △ 1,126 | △ 0.2 |
| | 公共下水道事業特別会計 | 430,585 | 280,989 | 149,596 | 53.2 |
| | 公平委員会特別会計 | 11,768 | 12,139 | △ 371 | △ 3.1 |
| | 計 | 1,995,037 | 2,590,288 | △ 595,251 | △ 23.0 |
| 企業会計 | 収益的支出 | 197,005 | 220,715 | △ 23,710 | |
| | 資本的支出 | 236,215 | 162,880 | 73,335 | |
| | 計 | 433,220 | 383,595 | 49,625 | 12.9 |
| 合計 | 7,602,257 | 8,077,883 | △ 475,626 | △ 5.9 | |

※老人保健特別会計…後期高齢者医療制度に移行したことにより、3月分医療費のみの予算計上

第1・2回臨時会・議会のうごき

第1回 臨時会

1月30日

■条例制定

・鷹栖町地区住民センター設置及び管理に関する条例

各地区公民館施設の名称を各地区住民センターに替え、管理・運営を指定管理者に行わせる条例を制定しました。

■条例改正

・鷹栖北野コミュニティセンター設置条例の一部改正

・鷹栖町公民館条例の一部改正
・鷹栖町婦人交流センター設置条例の一部改正

・鷹栖町福祉会館設置条例の一部改正
・鷹栖町農村環境改善センター設置条例の一部改正

・プラザ・クロス10設置及び管理に関する条例の一部改正
いづれも、鷹栖町地区住民センター設置及び管理に関する条例制定に伴い、使用料の免除規定を廃止すると共

に料金改定を行い、関連条文の文言整理をする改定です。

■一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ2,061万円を追加し、予算総額を51億7,337万7千円としました。

補正の主な内容は、除排雪業務委託料の増額によるものです。

第2回 臨時会

3月31日

■一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ66万円を追加し、予算総額を49億4,403万3千円としました。

補正の主な内容は、地方交付税等の確定と燃料費の増額によるものです。

■国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出予算をそれぞれ1,254万円減額し、予算総額を8億8,175万3千円としました。

減額補正の主な内容は、事業完了見込みによるものです。

■老人保健特別会計補正予算

歳入歳出予算をそれぞれ563万円減額し、予算総額を9億2,926万4千円としました。

減額補正の主な内容は、事業完了見込みによるものです。

委員会活動

議会運営委員会

2月29日

第1回定例会で審議する議案や意見書の取り扱いなど、議会運営及び議会改革について協議しました。

総務文教常任委員会

1月25日

第1回臨時会に提案される条例制定、一般会計補正予算について説明を受け、内容を審議しました。

経済福祉常任委員会

1月25日

第1回臨時会に提案される一般会計補正予算について説明を受け、内容を審議しました。

2月21・22日

第1回定例会に提案される一般会計等の補正予算並びに条例制定、新年度予算などについての説明を受け、内容を審議しました。

2月26・27日

第1回定例会に提案される一般会計等の補正予算、条例制定、新年度予算などについて説明を受け、内容を審議しました。

3月26日

第2回臨時会に提案される一般会計補正予算について説明を受け、内容を審議しました。

3月26日

第2回臨時会に提案される一般会計等の補正予算について説明を受け、内容を審議しました。

議会のうごき

| 日 | 内容 |
|-------|--|
| 1月 7日 | 鷹栖消防出初式 |
| 8日 | 議員協議会 |
| 9日 | 鷹栖町老人大学新年交礼会 |
| 13日 | 平成20年鷹栖町「はたちのつどい」 |
| 15日 | 鷹栖町選挙管理委員会委員補充員合同会議 |
| 25日 | 経済福祉常任委員会 総務文教常任委員会 |
| 30日 | 平成20年第1回鷹栖町議会臨時会 |
| 2月 2日 | 上川中央都市・町議会議長定例会 |
| 9日 | 上川管内町村議会議長会定期総会 委員長等会議 |
| 18日 | 鷹栖町農林連盟定期総会 |
| 19日 | 経済福祉常任委員会 |
| 21日 | 鷹栖町農林連盟定期総会 |
| 23日 | 総務文教常任委員会 |
| 26日 | 議会運営委員会 |
| 3月 3日 | 北海道立鷹栖高等学校卒業証書授与式 第24回たかす歩くスキーフェスティバル |
| 1日 | 平成20年第1回鷹栖町議定会定例会 |
| 2日 | 鷹栖消防団消防長「表彰旗」受賞 祝賀会 |
| 6日 | 鷹栖町老人大学・大学院卒業終了証書授与式 |
| 12日 | 町内自衛隊入隊者激励会 |
| 14日 | 経済福祉常任委員会 |
| 18日 | 総務文教常任委員会 |
| 26日 | 平成20年第2回鷹栖町議会臨時会 議員協議会 |
| 31日 | |

近藤 義紀 議員

問1 新学習指導要領への
取り組みについて

答 鷹栖らしさを
取り入れた対応

答弁 教育長

平成20年3月、10年ぶりに新学習指導要領が改定され、告示される予定になっています。改定が一番大きな特徴は、40年ぶりに授業時間数が増えることです。

学校教育の中では、基礎も応用力も大切にしながら学力の向上を図ることが大切です。いつの時代でも教育が目指しているのは、豊かな心や健康な心身を育んで、力強く生きていける、バランスの取れた人材の育成であると考えています。

学習指導要領についての受け止め方としては、学力向上と共に、自分で考え、自分で学ぶ姿勢を身に付けていく改定であると受け止めています。この学習指導要領の

完全実施は、小学校が平成23年4月から、中学校が平成24年4月からですが、平成21年4月からは移行措置期間として理科や算数などの一部が前倒しされることとなり、授業日数が増える予定です。平成20年度1年間を移行に向けての周知期間とし、文部科学省では指導要領解説書の作成や、内容の検討、教材の開発を進める予定になっています。

また、道教委も含めて、改定内容の理解を深めるための教職員等に対する研修を行うことが、平成20年度に予定をされています。

学校あるいは各関係機関と連携しながら、可能な限り鷹栖らしさを取り入れることができるような形で、教育課程の改定に向けた独自の調査・研究・補助教材の開発や、保護者・地域への説明などを行い、対応していきたいと考えています。

また、道教委も含め

問2 モンスターペアレントの
状況について

答 学びの環境づくりを
深めたい

質問

「理不尽な要求をする保護者」とか「怪物保護者」など色々な言われていますが、これらの苦情の一番の被害者は教員です。

質問 文部科学省は、新学習指導要領案を示しました。現行要領は「自ら学び、自ら考える力の育成」を掲げていましたが、改正案は「基礎的な知識技能の習得」が先で、「それを活用し、主体的に学習に取り組み」と構成を変え、完全実施は段階的に行うとされています。しかし、小・中学校の理数科目は内容が大幅に増えることから、

平成21年度から授業時間数を増やし、補助教材の作成も検討していくとしています。教育委員会としてこの要領案にどのように取り組んでいくのか伺います。

また、保護者や地域にどのような方法で説明をしていく考えなのかでしょうか。

さらに、平成21年度から開始される理数科目の授業時数増が目前に迫っていますが、準備をどのように進めるのか伺います。

※ほくとくん防犯メール

…犯人から身を守るために、子供に対する不審者情報や犯罪情報の発生・防犯対策情報などを、希望者のパソコン・携帯電話にメール配信するサービス。

自己中心的で理不尽な、常識の範囲を逸脱した要求を繰り返す保護者を「モンスターペアレント」と呼ばれています。現在、鷹栖町では一切そういった報告はありません。

保護者と学校・先生とのコミュニケーションが十分



鷹栖小学校

答弁 教育長

保護者に追い込まれた教師は、訴訟費用や損害賠償金が補償される公務員賠償責任保険に加入し、対策を講じているそうです。

本町において、これらのような問題が発生しているのかどうか、また、発生しているとしたら、どのように対処しているのかも伺います。

とられていることが背景にあると思っております。

ただ、いつでも起こりうる問題だという認識を持っています。

教育委員会や学校の教職員も「モンスターペアレント」だけではなく「クレイマー」と呼ばれる人達への対応も含めて道教委等の研修会に参加しています。

保護者と学校とが常に相互理解し、信頼関係を深めることが一番

坂根 玲子 議員

問 1 迅速な不審者情報提供について

答 「ほくとくん防犯メール」の利用を

大切な事だと思えます。現在の状況を継続すると共に、今後とも保護者と学校との信頼関係を確立した上で、学びの環境づくりをより一層深めていきたいと考えています。

不審者情報の提供があった場合、迅速という意味で、現在の情報提供の方法について考え方を伺います。

また、鷹栖小学校で試験的に携帯電話のメール機能を使った迅速な情報提供を始めたのですが、今後の取り組みを伺います。

答弁 町長

平成17年度14件・18年度2件・19年度7件の不審者情報提供があり、これからも地域住民の皆さんやPTA・

防犯協議会・警察と町ぐるみの活動を続けていく必要があると考えています。

平成20年1月に役場・北野公民館・総合体育館に設置した自動販売機で防犯情報と共に防犯情報も流す考えです。

北海道警察で平成19年4月から取り組んでいる「ほくとくん防犯メール」を広報等でPRし、利用を促していきたいと考えています。

鷹栖小学校での携帯電話のメールによる緊急配信については、平成20年4月から始まりますので、北野小学校・中学校でも検討を進めていただきたいと考えています。

不審者が出た場合の関係機関とのネットワークはすでにできていますので、それに加

えて迅速な情報提供の発信ができるよう努めたいと考えています。迅速性や全体への周知となると、町内一斉に情報提供できるシステムがありませんので、

若干難しいと考えています。今後、必要性も含めて第7次鷹栖町総合振興計画の中でも議論になると考えています。

問2

学校給食の安全性と地産地消について

答

鷹栖産の食材使用率を高める努力を継続

質問

今、中国産の食材が色々と問題になっていますが、多くの食品が輸入されている中で、何が安全で何が危険なのか、私達大人が食育を改めて考え直す良い機会になったのではないのでしょうか。

子ども達にとつて、学校給食に安心・安全

な地元生産者の顔が見え、そして季節を味わえる環境にいます。

地産地消という言葉が独り歩きするのではなく、鷹栖産のお米・野菜を少しでも多く口にできる環境を今以上につくる工夫が大切だと思いますが、学校給食をどのように考えているのでしょうか。

答弁 教育長

学校給食では、魚・肉類や加工食品を使うことも多く、アメリカ・オーストラリア・中国などで加工されたものも一部ありますが、大半は国内産または国内で加工された製品、あるいは学校給食協議会で商品開発している製品を主に食材として使用しており、子ども達が安全で安心して食べることができる食材の

確保に努めています。

学校給食は、望ましい食生活、食習慣を身に付ける意味で重要な役割を担っており、栄養バランスのとれた給食の提供と子供たちに食に対する正しい知識を身に付けさせるための取り組みを進めています。

地産地消についてもですが、お米は全て鷹栖町産米が使用されているとは言い切れませんが、あさひかわ・たい

ウレン草なども使用しています。

平成18年度からは農業経営者同友会の協力で6品目の野菜を使用していますし、平成19年度からは町内業者のモヤシも取り入れています。

町内ではなかなか手に入れることのできない食材についても、できるだけ近郊の農産物を使う取り組みも行っています。

今後も、地場産の新鮮な野菜を子供たちの学校給食に取り入れていきたいと考えています。



給食センター 調理作業

せつ両農協から合わせて110俵程度出荷されています。

また、農業振興公社で生産されている「オオカミの桃」や「鷹栖の味噌」も使っており、平成16年からは地元産のキュウリ・長ネギ・ホ

また、給食たよりに、給食に使用する野菜等の生産者の名前や、地元でとれた品を紹介したり、学校内の掲示板上に生産者の顔写真入りポスターを掲示して、鷹栖産の野菜などが使われている状況や地産

※コンビニ収納システム

…全国のコンビニエンスストアで公共料金等の支払いができるシステム。

質問

町税は、町にとってとても大事な財源の一つです。

しかし、町税の滞納者は後を絶たず、毎年多額の不能欠損があり、本年度も例年同様、多額の不能欠損が出てしまっています。

何らかの手立てを行わなければいけません。その前に、期限内に納付がしやすい、時代に合った環境づくりをすることが大事だと考えます。

現在、町税の納付場所は金融機関や役場会計窓口しかなく、開設時間・曜日が限られていて、収納サービスは万全とは言えない状況です。



役場収納窓口

答弁 町長

現在、全国167の自治体でコンビニ収納に取り組んでおり、道内では今のところ10団体だと聞いています。まだまだ一般化までには至っていないようです。

理由としては、コンビニの収納を実現するための開発費や、導入後の手数料がかかりますし、徴収がどうなるのかという不安もあり、コストをかけた分の収納があるのかということも、まだ掴みきれていません。

町税等の滞納状況を見ると、時間がなくて収められないという理由よりも収入減少等の理由により滞納となっているのが多数です。

悪質な滞納については、現在、8町の広域徴収の中でも検討しており、近い将来、広域で対応するような方法も考えています。

また、分割納付等、諸事情によって相談の上、職員が訪問徴収する場合もありますが、できる限り口座振替への切り替えを今後もお願いしていきたいと考えています。

しかし、生活様式の多様化が進んでいる中、コンビニ収納やクレジット決済も新しい方法として大事なこ

地消についてPRして行っています。

今後とも鷹栖産の食材の使用率をより高める努力やPRを継続して行っていきたいと考えています。

百武 和重 議員

問 コンビニ収納システムの導入を

答 将来に向けて検討

この対応策として、電話料金や電気料金等と同様にコンビニで納付ができる「コンビニ収納システム」の導入を考えてはいかがでしょうか。

コンビニはとても身近な場所です、夜間・休日を問わず営業しており、利用頻度も高いことから、住民への利便性が向上し、全国のコンビニで支払いが可能となるため、時間的制

約からの滞納や、町外の滞納者に対しての徴収率や期限内納付率の向上が期待できると思います。

納税の利便性向上と町税収入の安定的確保の推進を図っていくために、このコンビニ収納システムを導入することが必要だと思いますが、考えを伺います。

悪質な滞納については、現在、8町の広域徴収の中でも検討しており、近い将来、広域で対応するような方法も考えています。

※YES! クリーン

…農薬や化学肥料の使用を削減することを目的に開発された「クリーン農業技術」により生産された農産物について、その栽培方法などを分かりやすく表示し、道産農産物の優れた点をアピールするもの。

ンパク米出荷奨励事業も、期間を延長して取り組んでいきたいと考えています。

また、食育や地産地消、消費者との積極的な交流活動についても、農業経営者同友会から保育園の給食に鷹栖産米を提供していただく取り組みが始まっています。

平成19年11月より、食育に大変関心の高い東京都三鷹市の南浦小学校で、「鷹栖の北野米」が産地指定を受け学校給食に使われるようになりました。農家や農業団体の皆さんの努力が実り、評価された結果だと考えています。

色々なところで鷹栖産米・農産物や加工品も含めて直販の取り組みが広がってきており、さらに支援し拡大して



熊捕獲用箱わな

いきたいと考えています。

本町の農産物は、基本的に農薬の使用回数や生育状況等の記帳管理をしていますし、必要最低限の農薬の使用になっていきますので、安全で安心な農産物が生産されていることを確信しています。

残留農薬の定期的なモニタリングについては、農業団体等の具体的な意見・要望なども踏まえて検討したいと考えています。

②鳥獣被害については、猟友会の協力をいただいて駆除しています。

特に鹿の被害は年々増えてきていますので、平成21年2月には北野地区、3月には中央・北斗・北成地区で一斉駆除をする予定です。

さらに、平成19年の秋には北成地区の民家付近に熊が長期間にわたって出没しましたので、箱わなを設置したり、地域や猟友会と連携を取りながら、被害の未然防止に努めたいと考えています。

③農業・農村の環境整備対策について、使用済みの農業資材である廃プラスチックの処理に関しては適正処理協議会を作り、町も支援を行いながら、農家負

担の軽減を図っています。

また、地域農業推進会議においても、平成14年に廃タイヤの処理、平成18年には未使用農薬の処理に取り組んでいただいています。

地域農業推進会議とも相談をしながらの取り組みが、今後必要になってくると考えています。

今年、洞爺湖サミットが開催され、開催国である日本から、地球規模での取り組みとして環境問題が提起されます。

町としても、循環型社会形成推進計画に基づき、一般廃棄物の処理体制について整備が一段落したと考えています。

年々批判が高まっている畦草や稲わらの焼却を減らす取り組みを

していかなければならないと考えています。

町としては、今まで収集に対して10aあたり500円の補助や、収集機械の購入に対して支援をしましたが、農業者自身の努力もお願いして進めていかなくてはならないと考えています。

農協や関係団体とも協力しながら、農村環境の保全面や、安全で環境にやさしい農業、クリーンな生産物の観点からも、農薬を減らしていく取り組みが大変重要だと考えています。

一方、経営規模が大変広がってきていることや、土壌条件、春・秋が短いこともあり、難しい面もありますが、町を挙げて努力していく必要があると考えています。

町民のみなさんと共に進める 協働のまちづくり

町長・教育長の執行方針に対する質疑

質問

「健診を一部見直し、不安なく受診できる体制」とありますが、受診も大切なことですし、最終的には指導体制が重要と考えます。

健診結果を有効に活用し、改善することが医療費の軽減に結びつくと思います。

鷹栖の自慢でもあった健康づくりは、健診後に大きな役割があったと思いますので、もう少し具体的にお伺いします。

答弁 町長

特定健診、特定保健指導体制という新しい制度が始まります。国の政策としては、特に生活習慣病の予防に力を入れて、それぞれの医療保険事業者ごとにメタボリックシンドローム該当者等を何割

か減らす目標も、今後出てくると思います。

健康管理・健康づくりをしっかりと行っていくことは、これからも大変なことです。

保健師の健康づくり活動は、介護認定や地域包括支援センター業務も担当していますのでこれらを総合的に展開していくと、多方面にわたって保健指導・健康づくりの取り組みがしやすくなっていくと考えています。

一昨年から、「生涯元気づくり」の目標を立てて取り組んでいまして、特に国保については、5年後の受診率を上げる目標も具体的に作って実行していかなくてはなりませんので、重視していきたいと考えています。

具体的には、「生涯元気推進研究会」を

平成20年度に立ち上げます。これは保健推進

委員さんや国保運営協議会、介護保険事業計画策定審議会などそれぞれの分野の代表の方々に意見を出していただき、町全体の健康づくりの取り組みに生かしていきたいと考えています。

質問

今年度より「新規特産品定着化研究事業」がスタートします。

この事業の対象者と、他の特産品を見つるまで続けるのか伺います。

トマトジュース「オオカミの桃」の安定生産のために、「原料トマト生産振興対策事業を実施する」とありますが、現状で

は目標数量の生産ができていません。

道内の他の地域を見ても、トマトジュースに対しては大変力を入れてる現状がありません。

本町には「オオカミの桃」という全国ブランドがありますので、この目標数量をきちんと生産できる形を定着させることがまず基本だと思えますが、考えを伺います。



鷹栖町農業振興公社

町長・教育長の執行方針に対する質疑

※ポジティブリスト制度

残留基準が設定されている農薬をリスト化し、リストに載っていない農薬の残留が検出された食品や、リストに載った農薬でも一定限度以上の残留が検出された食品の販売等を禁止すること

答弁 町長

対象はグループや個人でも構いません。積極的に取り組まれる方について支援していきたいと考えています。が、計画の内容によっては、年数や支援の方法を変えていきたいと考えています。

試験栽培的なものや、どういったものかという研究や、できあがったものの販売対策もありますので、それらについて支援していきたいと考えています。

トマトジュース「オオカミの桃」は、農業振興公社で色々と研究・検討しているのですが、今年も60万とは少し難しいのかもしれませんが、それに近づけていくような努力をしています。

「オオカミの桃」が

60万の生産できなければ次の特産品開発ができないということではなく、色々な研究を今後進めていくことも大変大事だと思っています。

なお、農業振興公社の味噌も平成20年から地元産の大豆を使用することができるようになり、名実共に「鷹栖の味噌」となり、販売も大変伸びてきています。

質問

減農薬栽培や循環型農業について考えを伺います。

現在、環境に配慮した取り組みでは、温湯消毒や「YES！クリーン」のおいしい米づくり、低タンパク米事業、稲わら収集、地産地消、それぞれ、単独事業になっていきます。

これらを連動させた取り組みができないものか、また、政策として、「食糧の安全性と循環型農業を確立する町」を宣言することはできないか考えを伺います。

答弁 町長

生産方法から販売まで安全なものをどう作っていくか「YES！クリーン」に代表されるような取り組みを、これからしていくことが、第一だと考えています。

※ポジティブリスト等の大変厳しい基準もできていますから、きちんとクリアしていくことが、まず何よりも大事だと思えます。安全な農産物生産宣言をしたらどうかとのことですが、本町の場合、稲わら焼却をなくしたくても、春が遅く、

秋が早いこと、そして土壌は粘土質が強くて、なかなか稲わらが乾燥しないという現実があり、どうしても他町よりも煙が多く上がる原因だと思えます。

技術的にもいろんな意見もいただきながら取り組みましたが、なかなか難しく、限界があると考えています。「YES！クリーン」や稲わら収集事業などを同一事業にしますと、どれか一つ欠けたら補助を出せなくなることになり、実効性が難しくなってくると考えています。

質問

高校再編について、鷹栖高校の入学試験の競争率が1.8倍と全道一になっており、非常に人気が高いのですが、北海道教育委員会の方針では、1問口の高校を減らすことをさらに強めてくると感じています。が、どのような考えか伺います。

答弁 教育長

上川の中央部と南部を上川南学区と呼んでいます。平成22年までに旭川南高校と北都商業が総合学科となつて一緒に、愛別高校は募集停止になるという動きがあります。

また、旭川市を含めて中学生の卒業生数が伸びる要因は見当たらない中で今言われているのは、平成23～26年までの間に、3ないし



※AIR

…国際交流アシスタントの略。現在、14代目AIRとしてセーラ・ブランデルさんが活躍しています。



北海道立鷹栖高等学校

4学級をさらに減らさないといけないというのが、北海道教育委員会の見解になっています。

平成19年の高校再編の状況等を見ますと、やはり1間口・2間口校が再編のターゲットになっています。

鷹栖高校も現段階で1間口ですので、いつ再編の対象になってもおかしくはない状況にあると、常に危機感を持っています。

平成18年に町内外の

方から1万人を超える署名をいただき、東川町・美瑛町と一緒に

なっており、道知事や道教育長に署名を出してきていますし、地域の中でも、各関係機関の代表者に入っていたいで「鷹栖高校の存続を求める会」の組織をつくり、町内でも色々な形でPRをしています。

平成20年度には、町内のPRもありますが、北海道教育委員会に対しても、きちんとしたアクションを起こす必要があると思っています。特に、今回は1.8倍という普通科では北海道一の出願倍率でしたので、これを逆手にとって、「こういう高校をなぜ潰すんだ」といった形で、現在「存続を求める会」の会長とも話をしていきます。

できるだけ早いうちに、北海道教育委員会

に対して要請・要望活動をしていきたいと考えています。

質問

「祖父母などから教わった子育て経験や道徳心などを世代間で受け継いでいく機会が減少している」、「家庭、学校、地域社会が一体となってその役割を果たして育てていかなければならない」とあります。

昭和初期の話ではありませんが、向こう3軒両隣、おせっかい社会の復活といった形が戻れば良いと思っています。実際にはそうならない状況だと思いますが、考えを伺います。

答弁 教育長

地域全体で子ども達を育てていく必要性は、大変重要なことだと認識しています。

具体的には、地域の皆さんのボランティアをいただきながら、「子ども達の居場所づくり」を重点に進めています。

特に、「食育実践講座」については、小学生を対象とした「ピストロキッズ」や「おはなしキッチン」です。

今の子ども達は、家庭で包丁も使えない、学校ではカッターナイフも使わないといった状況にありますので、子ども達が刃物を使う機会が非常に少ないため、「ピストロキッズ」の中で包丁を使うことを体験させるなど、

地域の方と一緒に、体験できる場面をつくっています。

「各種体験教室」では、町のAIR※を活用して放課



ピストロキッズ

後の英語教室や、インジロケットの教室を夏休み頃にしたいと考えています。

「通学合宿」は、公民館に宿泊して、そこから学校に通います。また、「サマーキャンプ」なども実施しています。

また、老人大学や老人会の皆さんが各小学校・中学校へ行って子ども達と交流する機会も年に何回かあり、子ども達とお年寄りの交わる場も極力つくっています。

鷹栖スタイルを生かした町づくりの創造

平成20年度予算 一般会計 51億7,400万円 特別会計等 24億2,825万7千円 を可決

新年度予算について、3月7日に提案説明があり、10日・12日に議員全員による予算審査特別委員会を設置し、予算計上されている事業などについての質疑を経て、原案のとおり可決しました。

総務費関係

質問

公共施設修繕等基金積立金が創設されますが、この基金の最終的な積立予定額の設定がされているのか。また、どのような修繕計画なのか伺います。

答弁

総額2億円の基金を創設したいと考えています。

今後の基金の積立については、また方針を決めてはいませんが、なるべく使用料等の中から積立てをしていきたいと考えています。

修繕計画については、第7次鷹栖町総合振興計画の期間に合わせて大型修繕の年度別計画を立て、修繕を図っていきたく考えています。

企画費関係

質問

パレットヒルズのパークゴルフ場施設整備

備にかかる経費

や計画は今後町民の皆さんに相談しながら進めたいとのことですが、町の様々な施策は、計画があり、予算措置があつて、実施できるものだと思います。

しかし、パレットヒルズのパークゴルフ場に限っては、その計画がはっきりしない中、造成が先になっています。

付帯施設を含めて、今後も相当な予算が必要と思いますが考えを伺います。

答弁

パレットヒルズにパークゴルフ場を作



パレットヒルズ植樹

り、管理費を少しでも捻出したいとボランティアの方が取り組んだものに、町も負担をしています。

ただ、維持管理はボランティアの方にお願いにしても、施設整備は補助金も含めて、町が実施しなければならぬと考えています。

パークゴルフ場が

オープンした場合、トイレ・休憩施設については施設整備が整うまで仮設で考えています。

パレットヒルズ全体での利用方法及びどのような利便施設が必要か、町民の皆さんの意見を伺い、構想をとりまとめ、施設整備を進めたいと考えています。

質問

平成16年に行財政改革大綱が策定されました。

目標年次は平成21年ですが、実施経過から見て、現在までの成果を示してください。

答弁

財政的な効果については、歳入歳出合わせで約5,600万円です。

今回の事業別予算

や、ごみの減量化問題での生ごみ堆肥化も実施中です。

現在まだ検討している部分もありますが、最終的な目標年次に向かって着実に進めています。

民生費関係

質問

社会福祉法人鷹栖さつき会が北野地区に小規模多機能型介護施設を計画していますが、施設の規模など、内容を伺います。

また、鷹栖さつき会の既存施設では待機者が数十名いると聞いていますが、計画している施設で解消できるのか伺います。

答弁

計画している施設は、平成20年7月頃着

工し、平成21年に開所の予定です。計画の施設は2つあり、1つは定員20人の特別養護老人ホームで、地域密着型の制度により、町民も利用できる施設になります。もう一つは

「小規模多機能型居宅介護」という、通所・ヘルパー訪問あるいは一時的な宿泊が同時にできる施設で、通所が12名、宿泊が4名の計画です。

待機者の解消ですが、高齢者が増えていきますので、難しい状況だと思います。

質問

地域食生活支援事業で、料理教室を計画していますが、生活習慣病予防事業と連携しているのか、内容を示してください。

答弁

従来からの高齢者を対象にした「おたっしや料理教室」の他に、生涯元気を目的とする内容で、妊産婦やお母さん、子育てセンターを利用して親子への料理教室、幼稚園・保育園を活用した、料理教室、59歳以下の方を対象にしたメタボリックシンドロームを対象とする料理教室も考えています。

衛生費関係

質問

一般廃棄物の焼却処理委託料が1,030万円となっています。

平成19年度は1,383万円の予算計上でしたが、平成20年度か



生ごみ堆肥化施設

ら始まる生ごみ分別収集によって、償却経費はどの程度削減できるのか伺います。

答弁

生ごみは、燃えるごみの4割程度ですので、年間約640万円の削減と考えています。

平成20年度予算では生ごみ分別収集は9月からの実施ですので、その半分程度の削減を見込んでいます。

質問

平成19年度で不法投棄がどの程度あり、収集されたのか、また、内容的にどのような物が多かったのか伺います。



不法投棄

答弁

不法投棄件数は184件あり、そのうち町有地に関わるものが137件ありました。他に、道道や河川敷、用水路へも不法投棄が

あり、これらは各管理者へ報告しています。

その内、町が警察に届けているのは5件で、2件は不法投棄者を特定できましたが、それ以外は町が回収している状況です。

内容としては、雑誌類や、特にテレビ等の電化製品が多いです。

質問

合併処理浄化槽の管理について、道と業者がなぜ同じような検査を行うのか。また、補助金の内容について伺います。

答弁

検査には、法定検査と保守点検があり、法定検査は(社)北海道浄化槽協会が行っており、清掃や保守点検が基準どおり適正に行われているかを検査(年1回)するもので

利用者が8,000円を負担しています。

保守点検は、年3回行うことが使用者に義務付けられています。年3回で1万5,000円のうち町が1万円を補助しています。

農林費関係

質問

四季の里では、約8〜9万本のガラス瓶を使っています。



四季の里での作業(老人会)

当初はビンを回収し、再使用していましたが、事故や衛生面を考慮し、使い捨てのガラス瓶に替えました。今後、ビンの再利用を検討しないのか伺います。

答弁

リターナブルに対応できるようなものはないか、瓶会社と話をしています。

瓶の再利用については、現在、調査は続けていますが、瓶の洗浄経費などの問題もあり非常に課題が多い状況です。

土木費関係

質問

道路台帳修正業務委

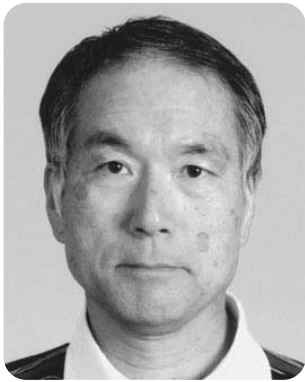
託として400万円計上されていますが、修正業務だけであれば、もう少し安く委託できないかと考えますが、委託内容の詳細を説明してください。

答弁

400万の内訳は、道路台帳修正業務のほか、橋梁点検台帳整備が含まれています。

橋梁点検は、33橋を予定しています。

道路台帳は、電子化の作業を進めており、平成19年度末で約45%が終了しています。20年度は、約55kmを予定しています。電子化は平成22年頃終わる予定ですが、道路台帳は、交付税の算定の基礎になり、工事が終わると、常に修正業務が発生してきます。



感謝と無農薬 野菜作りへ第一歩

織田 勝利
(北野西町内会)

宗谷地方に10年出稼ぎ、留守中はいろんな方のお世話になりました。特に西町内会の方々のお陰で家も私も無事でした。この場を借りてお礼を述べます。退職して3年たち、この間に、高齢者雇用促進事業団と喜楽老人会にも入会。現在、西町内会の副会長という重責までいただいています。百歳まで頑張って生き抜き、これから最低10年は皆さんのお役にも立てたら（ボランティア等）これ以上の幸せはないと思っていますので、ご活用下さい。話変わって、つい最近、5年使ったパソコンがもの見事に壊れ（自分で直すつもりが余計に致命傷を負わせ）ほぼ新品を買うハメになってしまいました。高い出費でしたが、この年になって自作パソコンのノウハウを学んでしまいました。もし、ご要望があれば、ソフト付きで組み立ててあげますのでご一報ください。最後に、鷹栖町の農業危機を乗り切るため、自家用無農薬野菜作りを一緒にやってみませんか。セントゴルフ倶楽部手前で営農しています。ただいま、お友達を募集中。

● わたしの一言

● 日頃思っていること



温故知新

藤原 昭男
(北栄町内会)

3月の議会で旧第二中学校校舎解体の予算付けが成された事を耳にした。3年前の台風で屋根トタンがまくられ哀れな姿をさらしている事に胸を痛めていた者として、ほっとしている。そこで気になるのはあの建物に収蔵されている大型の文化財の行き先である。日本で最初に水田に乗り入れた故・酒井健一氏使用の大型トラクター。稲作技術指導の失敗作と言われたペーパーポットの苗蒔き器。出始めの自脱形コンバインの二条刈り三条刈りなど。北海道有数の米どころと言われる鷹栖町にとって掛け替えの無い産業文化財が展示スペースを得られぬままに日の目を見られず眠っている。厚意で寄贈して下さった方に申し訳無いと思っている。今迄にも農業倉庫や小学校跡など話題にのぼった建物はいくつか有ったが何分にも予算が伴う事で有りなかなか前に進めないでいる。今地方自治体の財政事情は非常にきびしい状態に有る事は重々承知している心算だが、町政に携わる方々の特段の配慮を御願ひして筆を置く。



いつもより早い春の訪れに、やわらかな風を感じる季節を迎えました。

「みんなの議会」130号をお届け致します。

今定例会では、4名による一般質問、平成20年度の町政・教育行政の執行方針を受け、質疑を行いました。

また、平成20年度各会計の事業及び予算について慎重に審議をして議決しました。

厳しい財政状況の中で、鷹栖保育園の改築、生ごみ堆肥化施設の稼働、地区住民センターの民間管理など新しい取り組みも行われます。

町民・議会・行政が協力して共にあゆむ事がこれらの町づくりには必要だと感じます。

最後に、私の一言にご寄稿くださいました、

織田 勝利 さん
藤原 昭男 さん

ありがとうございました。

編集委員一同